

■ 会社概要 (2025年9月20日現在)

社名 アルインコ株式会社
英文社名 ALINCO INCORPORATED
本店 大阪府高槻市三島江1丁目1番1号
大阪本社 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号
東京本社 東京都中央区日本橋2丁目3番4号
創業年月 1938年9月
資本金 63億6,159万円
従業員数 (連結) 1,455名 (単体) 773名

コーポレートサイト <https://alinco.co.jp/>



■ 役員 (2025年9月20日現在)

取締役	執行役員
代表取締役会長 井上 雄策	常務執行役員 小嶋 博隆
代表取締役社長 兼 社長執行役員 小林 宣夫	常務執行役員 西岡 俊浩
取締役 兼 専務執行役員 岡本 昌敏	常務執行役員 山本 和弘
取締役 兼 常務執行役員 坂口 豪志	常務執行役員 川上 義広
取締役 兼 常務執行役員 井上 智晶	上席執行役員 小土井 晃雅
社外取締役 水野 浩児	上席執行役員 鶴山 伸治
社外取締役 細川 明子	上席執行役員 佐倉 広太郎
取締役※ 吉井 敏憲	上席執行役員 神藤 和行
社外取締役※ 衣目 成雄	執行役員 鶴留 朋広
社外取締役※ 野村 新平	執行役員 青山 憲吾
	執行役員 勘木 正博
	執行役員 吉岡 寛子

注) ※は監査等委員であります。

■ 株式の状況 (2025年9月20日現在)

発行可能株式総数 35,200,000株
発行済株式数 21,039,326株
うち自己株式数 1,066,000株
株主数 11,288名

■ 株主メモ

事業年度	毎年3月21日から翌年3月20日まで
定時株主総会	6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月20日 期末配当金 毎年3月20日 中間配当金 毎年9月20日
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜4丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵送物送付先	フリーダイヤル 0120-782-031 受付時間 9:00~17:00 (土・日・休日を除く)
お問い合わせ先	URL https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

株主優待について

毎年3月20日現在の当社株主名簿に記載された株主様を対象としております。

保有株式数	株主様への株主優待制度	
	3年未満保有	3年以上継続保有
500株以上1,000株未満	1,000円分の商品券	2,000円分の商品券
1,000株以上5,000株未満	2,000円分の商品券	3,000円分の商品券
5,000株以上10,000株未満	4,000円分の商品券	5,000円分の商品券
10,000株以上	6,000円分の商品券	8,000円分の商品券

上記の商品券は三井住友カードの「VJAギフトカード」となります。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

ALINCO アルインコ株式会社

証券コード:5933



ALINCO
REPORT

第56期 中間報告書

2025年3月21日 >>>> 2025年9月20日

表紙の作品
について

表紙のイラストは、神吉みちるさん作「Magic」(パラリンアート作品)です。
※パラリンアートとは、障がい者の社会的参加と経済的自立を彼らの芸術的表現を通じて支援する一般社団法人障がい者自立推進機構です。アルインコは、「パラリンアート」を応援しております。

Paralym Art®



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第56期(2026年3月期)中間期の業績と次期の業績予想についてご報告申し上げます。

代表取締役会長 井上 雄策

代表取締役社長兼 社長執行役員 小林 宣夫

第56期(2026年3月期)中間期の業績

当中間期におけるわが国経済は、米国の関税政策の影響で輸出関連企業を中心に製造業の収益が下押しされた一方、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等を背景に非製造業の収益が大幅に増加した結果、景気は緩やかな回復基調で推移しています。しかしながら、米国の関税政策に対する不確実性や、ウクライナや中東の不安定な国際情勢の長期化など、先行きは不透明な状況が続いています。

当社グループの主な関連業界である建設及び住宅関連業界においては、国内インフラの老朽化対応や都市再開発プロジェクトを背景に建設需要は引き続き堅調に推移しています。一方で、建設資材高騰や人手不足等の影響によって仮設機材の調達を“購買

からレンタルへ”とする動向が継続しているものの、一部では将来の建設計画を見据えて計画的に購買を検討する兆しも出始めております。このような状況の中、当社グループではコア事業である仮設機材の販売とレンタルの連携を強化することにより、新型足場「アルバトロス」や付加価値の高い製品群の市場シェア拡大を進めるとともに、「中期経営計画2027」(2025年3月期(第55期)から2027年3月期(第57期)まで)の実行に取り組みました。

この結果、当中間期の売上高は、前年同期比3.0%増の317億48百万円となりました。利益面では、人件費等の増加により営業利益は4.4%減の12億56百万円、経常利益は3.6%減の14億21百万円となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比10.8%減の9億18百万円となりました。

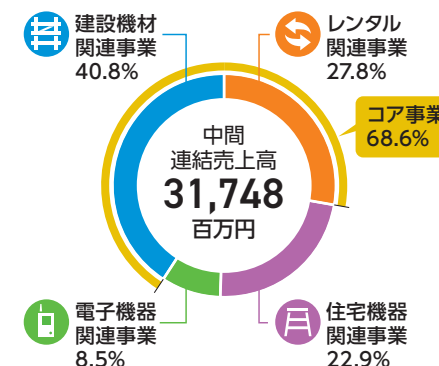
第56期(2026年3月期)の通期連結業績予想

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月2日に公表しました連結業績予想から変更なく、売上高635億円、営業利益31億円、経常利益33億円、そして親会社株主に帰属する当期純利益21億80百万円としております。

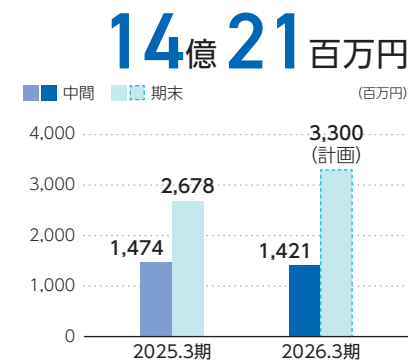


連結業績推移

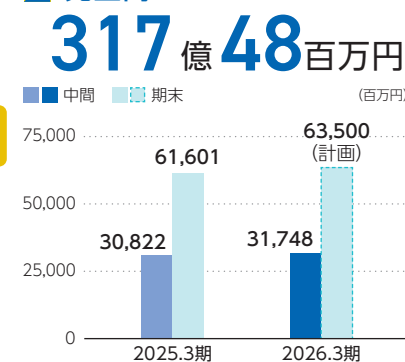
セグメント別概況



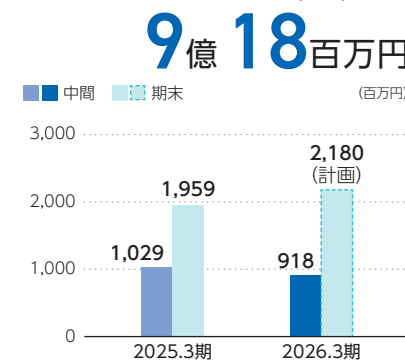
経常利益



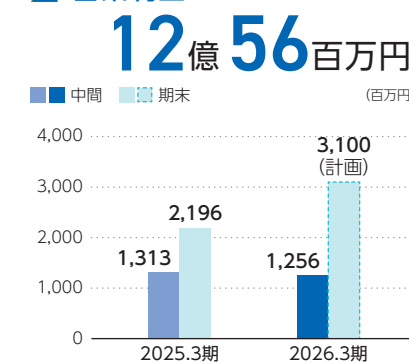
売上高



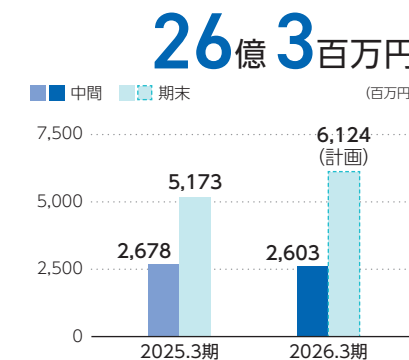
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



営業利益



EBITDA



(注) EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれん償却額

このたび、ALINCOブランドステートメントを「安心と豊かさを創る」と新たに決めました。
 長年にわたりお客様、取引先の皆様から賜ったご信頼とご期待にお応えするため、私たちは、「安心」という価値を守りながら、さらに一歩進んで「豊かさ」を社会に届けられる企業を目指してまいります。



ALINCO BRAND

それは人々に安全と安心を届ける品質の証
 便利さと豊かさを生活に届ける創意工夫の証

1938年の創業以来、人々の声に真摯に耳を傾け
 独創と進化を続け環境の変化に立ち向かってきた

品質を突き詰め、限界を突き抜け
 より深く人のために役立ちたいという想いを胸に
 より深く社会のために役立ちたいという願いを糧に
 妥協することなく、お客様のニーズに対峙する

その先にある「信頼」を目指して
 静かにたぎる「誇り」をたずさえて

歴史と事業を体感するショールーム

大阪本社に、当社の歴史と多彩な事業を体感できるショールームを開設しました。
 歴史を語るコンセプト・ギャラリーでは、当社の誕生から現在に至るまでの事業の展開を展示しております。また、事業の広がりを象徴するショールームでは、当社の製品を実際に手にとって、使用感をご体感いただけます。
 今後も多くのお客様、取引先の皆様に「安心」そして「豊かさ」をお届けしてまいります。



「SPORTEC2025」出展

住宅機器関連事業

当社フィットネス事業部は、2025年7月30日～8月1日に東京ビッグサイトで開催された日本最大級のスポーツ・健康産業展示会「SPORTEC 2025」に出展しました。会期中は4万人以上が来場し、大盛況となりました。

今回の展示では、日本市場向け業務用トレーニングマシン「WELMORE」シリーズ、有酸素系マシンの新ブランド「ALLNEXT」、介護施設向け「ウォークリスタ」など多彩な製品を紹介。特にカラフルな色展開や、1台で10種目以上のストレッチが可能な「ストレッチトレーナー」が来場者の注目を集めました。

今後も当社は、スポーツ・健康分野の最前線で、ニーズに応える製品とサービスの提供に努めてまいります。

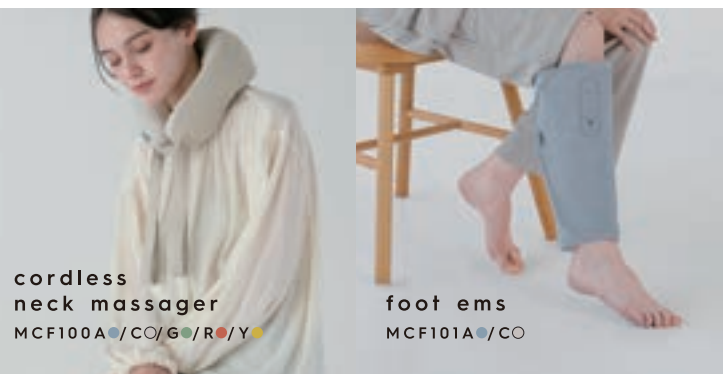


新ブランド「FLATS」を展開

住宅機器関連事業

ちょうどいいから、
ここちいい。

FLATS
Lifesize Relaxation



cordless
neck massager
MCF100A ● CO / G ● RO / Y ●

foot ems
MCF101A ● CO

「全日本少年硬式野球連盟」への協賛

一般社団法人全日本少年硬式野球連盟(通称:ヤングリーグ)にて、『アルインコカップ争奪 第33回ヤングリーグ選手権大会』(2025年7月26日～29日 淡路佐野運動公園)『第13回ヤングリーグジュニア選手権大会アルインコカップ』(2025年8月23日～25日 静岡県掛川市営球場)が開催されました。

当社は、2006年から同連盟への協賛を続けています。これからも、子どもたちの夢と地域社会の活性化を支援してまいります。



「第56回市民フェスタ高槻まつり」への協賛

当社本店がある大阪府高槻市で開催された「第56回市民フェスタ 高槻まつり」に協賛いたしました。高槻まつりは市民の連帯を目的に1970年に始まり、現在では夏の恒例行事として定着しています。今年は8月2日・3日の2日間で14万人以上が来場し、盛況を博しました。

当社は、地域社会とのつながりを重視し、地元 に根ざした活動の一環として本祭りへの協賛を通じ、地域の発展と交流の促進に貢献してまいります。

